

市議会だより

おおまち

201号

令和8年2月1日発行

12月定例会号

特集

岳陽高校生との意見交換会

住み続けたいまち、若者が活躍できるまちづくりとは 2～3ページ

議会だよりライブラリー
で過去の議会だよりも
見ることができます



岳陽高校生 作成ポスター 生徒たちの手で作られたポスターに、意見交換会の熱気が詰まっています。

大町市議会へご意見をいただける モニターを募集します!

市議会では、当市の未来を担う若い市民から、議会に対する要望や提言など、広く聴取し、議会運営に反映したいと考えています。

募集人数 10名程度 **任期** 4月1日から1年とし、再任していただくことができます。

活動内容 本会議や委員会等を可能な範囲で傍聴・動画等を視聴し、ご意見・ご提言を文書で提出していただきます。

その他 報酬はありませんが、記念品を贈呈します。

募集期間 2月1日（日）から2月27日（金）までとします。

応募資格 18歳から45歳までの市民で、公務員、各種議会議員又は行政委員は除きます。

応募方法 応募用紙に住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレス、応募理由を記入の上、議会事務局にご提出ください。



特集

住み続けたいまち

若者が活躍できるまちづくりとは

A 班

住み続けたいまち



カフェや学習スペースが欲しい

人が集まる公園や図書館などの整備

歩きたくなるお店があったらいいな

大学（農業系等）などがあればいいな

電車の本数を増やして！

人を呼び込むような高速道路を整備して

病院や助産院をもっと増やして

SNSで観光や仕事の情報を発信して

まとめ意見

商店街や駅周辺にカフェや公園など、人が集まり、たのしく歩ける大町だったらうれしい。これからどんな役割ができるのか探究心をもって大町市を考えてみたい。



第1回

高校生との意見交換会

高校生の声から始まる大町の未来

11月10日、岳陽高校生徒会役員が集まり、住み続けたいまちや若者が活躍できるまちづくりについて議員を交えて率直に話し合いました。

B 班

住み続けたいまち



学生の利用しやすい交通機関が欲しい

都市部に行きやすい交通のあるまち

学生が活躍できるまち（ボランティア等）

いろいろな学習ができるまち

地元での職場体験ができるまち

情報発信を積極的に行うまち

若い人が遊べる場所のあるまち

住んでいる人に優しいまち

まとめ意見

大町市の魅力として、商店街の噴水や恋人たちの聖地、山岳博物館の桜、市民から意見を集めて、「おおまびょん」を活用したSNS発信を進めてほしい。



住み続けたいまち

C 班



駅周辺に高校生が遊べる場所が欲しい

大町ならではのイベントが欲しい（季節ごと）

大町と言えばの特産品が欲しい

駅前に図書館や公園がほしい

部活ができる場所がほしい

JRの本数を増やしてほしい

遊べるところとご飯屋さんを増やしてほしい

洋服屋さんがほしい

まとめ意見

部活動の環境や設備を充実させたい。また、それらは地域の人と共有できる施設にしたい。さらに、その施設を活用して地域と一緒にイベントを開催し、交流を深める場にしたい。



住み続けたいまち

D 班



電車の本数を増やす

歩道と車道の整備

子どもが遊べる公園の整備

座る場所・休憩場所を増やす

休日勉強できる飲食店・カフェ等がほしい

ショッピングモールの誘致

音楽祭の開催（フェス）

スポーツ祭などの地域プロジェクト

まとめ意見

私たち岳陽生は、JRの本数の増便、景観美化的ための歩道整備、飲食店・ショッピングモール等の誘致、若者や観光客増加のための音楽祭等の開催を実現してほしい。そして、岳陽生代表として、丸山健太が大町市を変えたい。



市川校長先生からひとこと

おかげ様で、リアルな政治の一端を知ることができ、生徒が社会を視る目が確実に深まりました。今後とも地元との連携を一層深めたいと思います。



一般質問

「一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問には各会派の代表が行う「会派代表質問」と、委員会の代表が行う「委員会代表質問」があります。

会派代表質問

内部統制導入は急務



政友クラブ代表 二條 孝夫

Q ミスを防ぐには、内部統制の制定は明らかにメリットがある。市職員を守るため、市民益のため制度を一日でも早く導入できないか。

A 市では庁内策定委員会により、コンプライアンスの基本方針及び、実施計画の協議を進めている。内部統制につながるヒヤリハット事案を把握し、その対策を職員間で共有することで、ミスの発生を未然に防止し、適正な業務の執行が可能となる体制の整備を行う。今後もコンプライアンスの基本方針と実施計画の制定を優先的に進めていく。

松糸道路建設は手段、その後のまちづくりが大事

Q 沿線住民の不安、心配をどのように解決していくか。

A 地区説明会を開催している。県からは道路設計の担当職員、用地や建物等の移転補償に精通した職員が出席し、大判の計画図や三次元モデルを活用するなど、会議の方法を工夫し、より丁寧に個別具体的な説明を行なっている。農業を始め様々な分野を含め、意見要望の聞き取りに努める。また説明会以降も、県及



ルート線を示す大判地図 地域の悲願である松糸道路早期開通を

び市の相談窓口において個別の要望や意見を直接聞いていく。

Q 松糸道路を利用し、どのようなまちづくりをしていくのか。

A 立地適正化計画を策定している。松糸道路をまちづくりの骨格と位置づけ「大町版コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方のもと幹線道路網の再構築、中心市街地へのアクセスの円滑化をし、都市機能の誘導や生活拠点の形成に係る各種施策を推進し、地域間が連携・共存する都市づくりを実現していく。

特色ある幼児教育・非認知能力をどう育てるか

Q 少子化が進む中、保育園の再編はやむを得ない。認定こども園と共存しながら特色ある幼児教育が必要だが市としての考えは。

A 3歳未満児の保育需要の増加や時間外保育など多様化する保育ニーズに対応するため、公立保育の再編は必要、3歳以上の幼児期は非認知能力の育成に大事、市内3園の認定こども園と緊密に連携をとりながら特色ある幼児教育に努めていく。



大町は子育て最高の環境、大町だからこそできる幼児教育を

【関連質問】

Q 大町病院での看護師の働き方改革として「iセル看護」の導入は。
A ※2 固定チームナーシングを中心にセル方式を取り入れたハイブリット型の看護体制に取り組んでいる。

Q 中心市街地のアーケード撤去後のまちづくりは。
A 本通りを「にぎわう場の中心」とし、歩行空間デザインや道路構造の再整備の調査検討を進める。

※ 用語解説

- ※1 セル看護：病室ごとに担当を決め、看護師の動線のムダを省き、患者さんの傍に時間を長くする看護体制。
- ※2 固定チームナーシング：固定された数名の看護師で、一人の患者さんを継続的にケアしていく看護体制。

個人質問

大町市の生き残り戦略はいかに



政友クラブ 大竹 真千子

Q 当市は、何を強みに、どう生き残っていくのか。そのために、どんな戦略の柱を立てる考えなのか。

A 人口減少や少子高齢化が進む中、地域資源を最大限に活かすことが重要。北アルプス国際芸術祭や「みずのわプロジェクト」などの取組を通じ、地域の魅力を高め、関係人口や市民満足度の向上につなげていく。第6次総合計画では、地域資源を磨き、掛け合わせて活用する施策を戦略の柱として位置づける。

Q 白馬など近隣地域の人口流動を当市の移住定住に生かす考えは。
A 白馬エリアを中心とした、インバウンド増加による人口流動を好機と捉え、庁内連携を図りながら、住みやすい暮らしの場として選ばれるよう取り組んでいく。



大町市の今後10年の方向性を決める総合計画。来年は策定の年

介護慰労金減額の中止を



日本共産党大町市議員 宮田 一男

Q 当市の介護者慰労金制度は、家族介護者の励みとなっている大変誇るべき制度だ。これを半額に減額する見直しは中止すべき。

A 長期にわたり、安定した福祉支援策を幅広く持続的に推進するための苦渋の選択となる。

公民館利用者負担増の減免基準見直しは撤回を

Q 本年9月議会の全員協議会において「受益者負担」の適正化について改正案が提案された。社会教育施設である公民館等の使用料減免率を見直し、利用者負担増となる内容だ。使用料収入の増加は。
A 改定案の50%減免にすると420万円の収入増となる。

Q 利用団体や公民館運営審議



在宅介護者を支援する介護者慰労金の減額は中止を

保育園再編は市の将来にとって有益か

Q 保育園を7園から3園に再編すれば、保護者負担が増加しないか。
A 通園距離が長くなる地区は負担が生じるが軽減策を講じる。
Q 移住定住策と矛盾しないか。
A 子育て環境全般を充実する。

会の意見は聞かないのか。
A 改正案の再検討をしており（令和8年4月実施は見合わせ）、今後登録団体や利用団体に説明し意見を聞いていく。



二次元バーコードから動画が見られます。



次ページも、一般質問

一般質問

各議員の一般質問の様子を大町市ホームページ内の議会中継映像で見ることができます。二次元バーコードからアクセスしてください。

おせっかいをし合える町をつくる



政友クラブ 中村 直人

Q 高齢者が定期的に集まり、団らんやカラオケをする宮田町等の取り組みを自治会に広げられないか。

A 各団体と意見交換を重ねながら、活動支援をしていきたい。

Q 市内施設の当事者負担が進む一方で、市民が自主的にスポーツ・文化活動等で集まることは、健康維持のための重要な機会だ。市民活動継続のための支援は。

A シニアクラブ等や陶芸の家への支援の他、より多くの方々の参加機会の充実に努めていく。

Q 人生最後の時を自宅で過ごせる体制づくりのため、大町病院の先生やスタッフ達が、訪問医療・介護に情熱を燃やしている。市は連携をどうはかっているか。

A 医師やスタッフの不足、虹の

家の活用、障がいをお持ちの方への支援者不足等に対応するため協力・支援が必要。市民への情報発信・啓発活動も連携して行っていきたい。

Q 子供の社会的孤立に対し、市独自の「キャリア教育指導員」は、卒業前後には子供と共に企業を訪問する、不登校の子供達と通信高校等を繋ぐ等、重要な仕事をされている。取り組みの充実を進められないか。

A 学校・家庭・地域を繋ぐ重要な役割と位置付ける。他の学外の居場所の整備と共に、子供達の進路支援を行っていく。

市民バス「ふれあい号」への提言



みんなで考えようプロジェクト。官民連携の活動が生まれている

岳陽高校魅力化へ動き出す



市民クラブ 中牧 盛登

Q 令和6年度、大町中学校から岳陽高校に入学した生徒は51人、年々地元高校に進学する生徒が減少していく状況を、市はどう考えているのか。

A 当市にとって唯一の高校であり重要な教育資源、財産である。県立高校であるということで傍観することなく、岳陽高校の魅力化を重要な地域課題と受け止め、岳陽高校と連携を深め、有効な支援策について早急に検討し実施したい。

Q 市は、地元の高校がなくなったら大町市の未来はどうなると考えるか。

A もし仮に唯一の高校がなくなった場合、深刻な影響が地域社会に起こると考える。

Q 岳陽高校の魅力化を推進す

る体制整備を、大町市主導で取り組んではどうか。

A 岳陽高校の魅力を引き出すために、市と岳陽高校が共に検討する組織を立ち上げる。

Q その組織は、いつ立ち上げる考えか。

A 岳陽高校の同意があれば速やかに組織を立ち上げる。

Q その組織は、どこに設置する考えか。

A 教育委員会内に事務局を設置したい。



魅力化向上へ取り組みが動き出す大町岳陽高校

官製談合の防止と入札のあり方



政友クラブ 西澤 和保

Q 官製談合防止の対策は。

A 裁判の経緯を踏まえ分析と検証を行っている。入札要領の見直しや検討委員会でも有識者や弁護士を交え再発防止に向けた対策を本年度を目途にまとめたい。

Q 議決を経ずに工事金額の変更を行った入札制度の検証と防止策は。

A 工事中の不測の事態により議決を待っての工事では工事の遅れが懸念され、止むを得ず手順を前後させてしまった。管理監督機能の強化を図り再発防止を徹底したい。

Q 中小受託取引適正化法の施行により工事の遅れは人件費の補償にも及びかねない。条例等を整備し、対応策を検討するべきではないか。

A 物価の急激な変動や中小受

託取引適正化法の強化で予期せぬ事態も考えられる。必要性を踏まえ慎重に調査研究をしたい。

持続可能な芸術活動の支援を

Q 文化芸術振興条例制定で持続可能な団体活動の環境整備と部活動との連携は検討されないか。

A 指導者としての関わりを持つことで団体自身も持続可能なものとなることに期待をしたい。また施設利用料の減免などにも配慮したい。

令和7年度 一般競争入札発注情報（建設工事）			
No.	発注品	発注先	備考
10	公共施設	大町市立大町中学校	入札不成立
11	公共施設	大町市立大町中学校	入札不成立
12	公共施設	大町市立大町中学校	入札不成立
13	公共施設	大町市立大町中学校	入札不成立
14	公共施設	大町市立大町中学校	入札不成立
15	公共施設	大町市立大町中学校	入札不成立

入札が成立しない原因と制度の見直しも必要

談合防止は勿論だが入札制度そのものの問題点の改善を

大町市 クマ出没多発



峻嶺会 一本木 秀章

Q クマ出没多発の原因と対策は。

A 令和7年度の大町市のクマの目撃情報は309件と過去5年間で最多となった。人身被害は死亡事故を含む2件となっている。令和5年度もドンブリ等が豊作で、多くの子熊が生まれたものと予想され、そのクマが今年多く目撃されたと考える。

県全体では推定生息数は把握されていないが、これほど多くの目撃情報があることから、生息数の増加を前提として、これまで以上に人身被害の防止と、農林業被害軽減等の対策の強化に取り組む。ツキノワグマは昨年4月から指定管理鳥獣に追加され、県が作成した第2種特定鳥獣管理計画に基づき、個体群管理をし、個体調整する事に加え、侵入防止対策や生活環境の管理の3

※3 ツキノワグマ対策パッケージ1.0：県民の命を守り、暮らしの安全を確保する対策。

用語解説

・嗅覚が犬の倍（人の5,000倍）
・熊は臆病で目（白黒）と耳は普通
・雑食、堅果類が好物である。
基本的には臆病で人を選べる性質ですが、子グマ保護時や、近距離遭遇、人馴れ（誘引物がある地域）では攻撃することもあります

クマの性質を知ろう

本柱を基本とし、防災行政無線や緊急メール、アプリ等による注意喚起や出没現場周辺のパトロールや警戒情報の伝達等の対策を強化し、国や県、警察等との連携に取り組む。環境省が策定した「クマ被害対策パッケージ」、県が策定した「ツキノワグマ対策パッケージ1.0」などを踏まえ、クマから市民の命と暮らしの安全を守るための対策をする。

Q 市はお米券を配るのか。

A 国の重点支援地方交付金で、有効な支援策となる様、市として検討する。



二次元バーコードから動画が見られます。



次ページも、一般質問

学童クラブの利用料について



日本共産党大町市議員
栗林 陽一

Q 来年度から放課後児童クラブの月額使用料を1000円徴収するが市の収入は幾らになるのか

A 来年度は約180万円を見込んでいます。

Q 放課後児童クラブの月額使用料を徴収することにした理由は何か。

A 受益者負担の適正化を図る観点から、月額制に見直した。

Q 子育て施策と受益者負担の整合性を説明できるか。

A 受益者負担の考え方を基本とし、利用する方と財政負担とのバランスを考慮し、今回の改定に至った。

松糸道路の騒音について

Q 松糸道路の騒音の基準は道路の区分に応じて設定されているのか。



松糸道路の騒音が生活環境に与える影響への対策が求められる

A 幹線道路における近接空間の環境基準を適用する。

Q 幹線道路の基準は70dBとなっているが広報に書かれていた60dBまでにおさえられるのか。

A 幹線道路と言っても一概に条件が同じではない。盛土構造の為、音の伝達特性上、一般的には騒音は大幅に低減される。

Q 閑静な住宅地に60dBの騒音は住民の負担になるのではないか。

A 現時点では具体的な対策を示す段階に至っていない。住民の皆様が意見を聞き、騒音の低減をはかるために具体的な検討を県に働きかけていく。

官製談合事件市民の為真相究明を



無所属クラブ
大和 幸久

(以下、検討委員会)の審議を通じて体制を整えていく。

Q 検討委員会は、LED関連の5事業者、職員は、アンケート調査の結果をもとに審議している。これでは、「なぜ30年も前から事業者間の受注調整(談合)が常習化しているのか」「なぜ市職員が10年も前から情報漏えいを繰り返していたのか」を解明できず、市民の求める真相究明にほど遠い審査で終わってしまう。

A 裁判で調整(談合)と出たが、証拠陳述だけで立証はなく、検討委員会では審議はしない。



不祥事が絶えない中での官製談合事件、あいまいな幕引きは許されない

風通しよく大町市を変えるには



市民クラブ
小澤 悟

Q 市長が考える理想的な職場とはどんな職場か。

A 自ら考え行動し、上司と部下が立場に関わらず常に意見を交わしながら職員が活き活きと働ける風通しの良い職場。

Q 職員提案は、どのような意図でおこなわれているのか。

A 職員の意欲・資質向上のため。

Q 職員の話では就職して最初の5・6年はやる気に満ち溢れ職員提案をたくさん出すが何も変わらないことで、提案しなくなると聞いたが。

A 提案しても職場が変わらないという認識を、もし若手職員、あるいは提案した職員がそう思っているならば大変残念なことである。やはり、周知の仕方を検討する。

Q 風通しの良い職場を作る活動



風通しの良い職場づくりの研修風景

は、市民サービスにどのような影響があるのか。

A 職員全体の意欲が高まり市民サービスの向上につながる。

Q 対話研修が必要とされている※4心理的安全性のメリットは。

A 職員が提言や直して欲しいことを率直に言えるようになること。

Q 風通しの改善は業務か。

A 業務の下支えになるもので、業務というか仕事の一環である。

Q コミュニケーションをとるとは推奨するか。

A 推奨すべきと考える。

高齢者と子育て世帯の支援強化を



無所属クラブ
植松 悠一郎

Q 高齢者が雪かきを行うと、心疾患の引き金になるリスクがあると聞くが、病院での実態はどうか。

A 実数を把握していないが、救急外来などで一定の事例がある。

Q 雪かき支援は命に関わる施策。より多くの高齢者の方が利用できるようにしてほしい。

A 見直しも含めた、制度のあり方について、検討しているところ。

Q 雪下ろしも命に関わる作業。業者委託費用に対して8千円の補助があるが、自己負担が大きく利用を控える人の実態を調査できないか。

A 民生委員と包括支援センターから市に情報が伝わってくる。

Q 支払える分だけ業者へお願いするなどして、皆さん必死に対応している。実態を把握してほしい。

雪かきが
ヒートショックの原因に！

心臓への三重苦
寒さ + 運動 + 早朝

↓

血圧急上昇

雪かきの死亡リスクについて世界中で注意喚起されている



二次元バーコードから動画が見られます。



市内のナラの樹は5年で全滅する



堀 堅一

Q 枯れた樹による人身被害対策を問う。全国では太い枝の落下や、太い幹が折れて通行人や車などに被害が発生している。事故予防対策について広報で伝えるべきだ。

A 木崎、青木で10本ほどの被害木を確認している。

道路などに面したナラ枯れ被害木の事故防止対策ではライフラインや人家に隣接した場所でナラ枯れが確認されたときは、必要な伐倒や燻蒸処理を行う。

ハンター育成のための公費負担について

Q 大町市役所のハンターは何人いるのか。

A 農林水産課には銃と罠の資格者が1名、会計年度任用職員2名、

農免許のみの職員が1名在籍している。有害鳥獣対策を強化するために対応をしてきた訳だが全国的にも先進的な取り組みになっている。

狩猟者への支援については、有害鳥獣捕獲に従事することを条件に、新規に狩猟免許や銃砲所持許可を取得する経費とともに、狩猟者登録手数料やハンター保険などに対して助成を行っている。

クマ被害対策は非常に危険な業務であることを強く実感している。猟友会には日頃より市の有害鳥獣対策に協力いただき、心より感謝する次第だ。



松枯れと同様にナラ枯れは止められない。植林に活路を目指せ

文化芸術団体への支援の強化を



太田 昭司

Q 大町市の文化芸術振興条例の制定に向けた取組みの進捗は。

A 令和8年度の制定を目指し審議会による検討を行なっていく。

Q 東京芸術大学は芸術が社会の様々な分野に関わることで、認知症予防や障がい者の芸術活動等、社会的課題を解決する「※5文化的処方」の取組みを行なっている。大町市も芸術系大学や学部と連携し文化的処方に取組む考えはあるか。

A 今後、芸大や民間団体等と連携し、文化芸術が社会にどんな役割を果たせるか検討する。

Q 廃校等を利用した「芸術作品の展示施設」や「文化財保存施設」の設置を提言する。

A 芸術作品や文化財は空調設備やセキュリティが整った施設での

一体的な保存と活用が望まれる。また多種多様な常設展示が行え、作品に親しんでもらえることも必要。どの廃校施設を活用できるか検討する。

校内フリースクールの設置を

Q 小中学校の校内教育支援センター、いわゆる校内フリースクールの設置を本日、再度提言する。

A 来年4月に開校する大町北部小学校と大町南部小学校に、校内教育支援センター、仮称「ほっとスペース」を設置する予定である。



市民の様々な文化芸術活動が、市民の活力の向上に繋がっている

議員が質した12月定例会

こんなことが決まりました！

議案第84号 大町市景観条例制定について

■結果 賛成多数で可決

素晴らしい景観を守り引き継ぐ

議案の概要 大町市の優れた景観は市民のかけがえない財産である。この魅力ある景観を守り育て、100年先の未来へ継承していくために、国の景観法に基づく大町市景観条例を制定する。

委員会審査

Q 眺望（見渡したながめ）点ほどの様に決定したか。

A 現在策定中の景観計画において、住民懇談会やアンケート結果に基づき、指定候補として14カ所を指定する。



A 本条令の上位法である景観法の趣旨において、「地域の自然、歴史、文化等と人々の生活、経済活動との調和により、地域の活性化に資するものが良好な景観」とされていることから、松糸道路の建設自体が法とそぐわなくなるといったことはないと考えている。

議案第73号

大町市交流促進センター明日香荘の指定管理者の指定について

■結果 全会一致で可決

新たな指定管理者が決まる

議案の概要 大町市交流センター明日香荘の指定管理者が（株）フードサービスシィンワに決まった。指定期間は5年間。

委員会審査

Q 新たな指定管理者を選定するに至った要因は何か。

A 新たな指定管理候補者は、インバウンドの呼び込みで、より多くの誘客につなげたい、という提案があった点等である。

Q 指定管理料はいくらか。

A 1600万円（1年）を予定している。

Q あらたな指定管理候補者の実績についてはどうか。

A 佐久、軽井沢、山梨で指定管理施設の運営実績がある。

議案第86号

令和7年度大町市一般会計補正予算（第6号）

■結果 全会一致で可決

設計委託料は妥当か

議案の概要 文化会館のトイレ洋式化の設計業務委託料について

委員会審査

Q 500万円余は高いように感じるが、業務内容はどうなっているか。

A 文化会館の楽屋やフレンドプラザを合わせ、合計19カ所の洋式化を行う。工事箇所が多岐にわたり、それぞれの場所で形状が違いため業務が複雑化している。

行政視察報告

総務産業委員会

●日程 令和7年9月29日
～10月1日

●内容

- ・音楽を核とした定住促進
(島根県浜田市)
- ・女子野球チーム創設による新たな取組 (島根県川本町)
- ・道の駅 (RVパーク併設)
(島根県大田市)

■若手音楽家を主とした若者の定住と町づくり (島根県浜田市)

若者が暮らしやすい町づくりを目指し、音楽活動の場と地域の雇用を結びつける目的として、卒業後の音楽活動の継続を求める全国の音大生を対象に、官民連携事業をすすめています。地域の音楽活動の普及活動や部活動の指導等、地域活性化や教育分野にも波及効果をもたらしています。官民連携・公設民営の事業において的確にニーズを捉えている事業は振興策として検討する価値があると感じました。

■女子野球チーム創設による特徴的な事業 (島根県川本町)

野球との結びつきが強い地域の特性を生かし、女子野球チームを結成しました。目的は生産年齢人口の定住を目指したもので、選手の確保には地域おこし協力隊制度を活用し、地域の活性化を図っています。人口減少に危機感を抱く町として財政負担を抑えつつ、生産年齢人口増加と将来の人口増へ向けた取組としては、非常に特色のある取組であり、事業



浜田市視察の様子

としての発想力に驚きを感じるものでした。

■道の駅 (RVパーク併設 (島根県大田市))

道の駅 (RVパーク) については、今後の道の駅としての付加価値を探る意味で参考となりました。



大田市の道の駅 (RVパーク併設)



川本町的女子野球チーム

合同視察

議会運営委員会

議会だより編集委員会

●日程 令和7年10月14日～15日

●内容

- ・議会改革・広報広聴委員会について
(長野県駒ヶ根市)
- ・議会改革・広報広聴委員会について
(三重県いなべ市)

■長野県駒ヶ根市

駒ヶ根市では、議会広報モニターを設置し、意見交換会を行っていました。市民と議会のごちらか一方だけにならず、議会の改革にもつながり、議会が何を行っているかを市民に分かりやすく伝えられることは、議会との接点が増える良いやり方だと感じました。

議会改革については、議会基本条例の検証により、明確になった課題の解決をはかるべく、議員間自由討議の方法として「クールダウンミーティング」や「ツ



駒ヶ根市議会視察の様子

行政視察報告

社会文教委員会

●日程 令和7年10月28日～30日

●内容

- ・屋内児童遊戯施設について
(山形県山形市)
- ・市立病院建替えの官民連携について
(山形県米沢市)
- ・特色ある幼児教育・保育について
(福島県福島市)

■屋内児童遊戯施設 (山形市)

平成26年12月にオープンした屋内児童遊戯施設「ベにっこひろば」は子育て支援センターを併設し、子どもの遊び場、子育て相談、保護者の交流の場を提供。夜間には部活動や社会人クラブに大ホール (体育館用途) を開放しています。大町市でも子どもの遊び場を求める声は多く貴重な参考事例となりました。

■病院新築移転の官民連携 (米沢市)
新築した米沢市立病院の敷地内に民間の三友堂病院を新築移転した官

民連携事例。以前は両病院それぞれが急性期と回復期の両医療を提供してきましたが、新築を機に機能再編し、急性期は米沢市立病院が、回復期は三友堂病院が担うことに。今後の大町病院のあり方を考える上で、非常に参考となる事例です。

■特色ある幼児教育・保育 (福島市)

福島市が進める特色ある幼児教育・保育プロジェクト。福島市の幼稚園・保育園等の多くが私立であり、独自の方針のもと特色ある取組みを行っている。自然環境系、運動系、文化芸術系、ICT活用系など。自己肯定感、非認知能力等の重要性が指摘される今日。大町市にとって参考になりそうです。

詳しくは大町市ホームページに行政視察報告書を公開しております。



米沢市立病院の視察の様子



山形市ベにっこひろば屋内児童遊戯施設

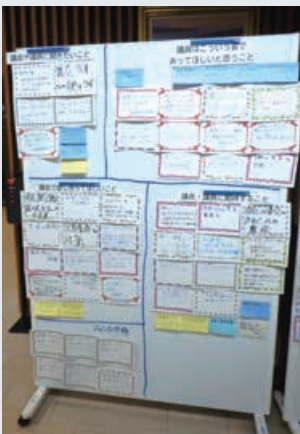
キニミーティング」など、対話機会を増やし、政策提言につなげていました。また、主権者教育の推進にも積極的に取り組んでいました。

■三重県いなべ市

いなべ市では広報公聴委員会を設置し、市民へのアプローチを積極的に行い、開かれた議会を目指していました。議会棟に入ると壁一面に「市民の声」が掲示されており、市民の意見を大切にし、市政への参画が着実に進んでいると感じました。

議案審議前に希望議員による「事前勉強会」などの取り組みがありました。また、「みんなの声カフェ」「議案への市民意見募集」など、「いなべ市議会行動計画」に基づいた政策サイクルへの取り組みがあり、学ばべきことの多い研修でした。

当市でも議会モニターを今年から募集し、市民の声を広く聴く取組みにつなげていきたいと思います。



いなべ市議会 市民の声の掲示



用語解説

クールダウンミーティング：本会議や委員会後に、議員同士で論点や課題を整理し、冷静に振り返るための意見交換の場
ツクニミーティング：常任委員会が月に2回集い、身近な課題や意見を気軽に話し合い、市政に生かすための自由討議の場
みんなの声カフェ：市民と議員が気軽に対話し、地域課題や市政への意見を共有し、議会活動に活かすための意見交換の場

令和7年12月定例会 提出案件の審議結果

賛否が分かれた案件		議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」 議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない																
議案番号等	案 件	日本共産党	無所属クラブ		市民クラブ		政友クラブ				峻議会		公明	無	結果			
		宮田 一男	栗林 陽一	大和 幸久	高橋 正	植松 悠一郎	中牧 盛登	小澤 悟	山本 みゆき	大竹 真千子	中村 直人	西澤 和保	二條 孝夫	一本木 秀章		傳刀 健	太田 昭司	堀 堅一
議案第72号	大町市ふれあいセンターさざなみの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	●	原案可決	
議案第79号	大町市営駐車場条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第80号	大町市中心市街地多目的ホール設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第81号	大町市八坂ふるさと体験館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第82号	大町市交流促進センター明日香荘設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第83号	大町市美麻温泉交流施設ぽかぽかランド設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第84号	大町市景観条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第93号	大町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
陳情第8号	私立高等学校に対する公費助成を求める陳情	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	不採択	
陳情第10号	大町市公共施設利用料の見直しについて緊急の説明会開催などを求める陳情	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●		○	●	●	不採択
陳情第12号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書提出について	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●		○	●	●	不採択
陳情第13号	大町一中東交差点地下道への防犯カメラ設置等を求める陳情	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	○		○	●	●	不採択

全会一致で承認・同意・可決・採択された案件

議案番号等	案 件	結 果
報告第15号	専決処分の報告について 専第24号 令和7年度大町市一般会計補正予算（第5号）	承認
議案第69号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第70号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第71号	大町市八坂ふるさと体験館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第73号	大町市交流促進センター明日香荘の指定管理者の指定について	原案可決
議案第74号	大町市美麻温泉交流施設ぽかぽかランドの指定管理者の指定について	原案可決
議案第75号	高瀬広域水道企業団の解散に関する協議について	原案可決
議案第76号	大町市職員の旅費に関する条例制定について	原案可決
議案第77号	大町市特別職の職員の旅費又は費用弁償に関する条例制定について	原案可決
議案第78号	選挙管理委員会及び議会等の要求により出頭した者等に対する実費弁償支給条例及び大町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第85号	大町市太陽光発電設備の設置管理等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第86号	令和7年度大町市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第87号	令和7年度大町市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第88号	令和7年度大町市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第89号	令和7年度大町市公営簡易水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第90号	令和7年度大町市温泉引湯事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第91号	令和7年度大町市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第92号	令和7年度大町市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第94号	大町市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第95号	大町市特別職の職員の給与に関する条例及び大町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第96号	令和7年度大町市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第97号	令和7年度大町市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第98号	令和7年度大町市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第99号	令和7年度大町市公営簡易水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第100号	令和7年度大町市温泉引湯事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第101号	令和7年度大町市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第102号	令和7年度大町市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第103号	令和7年度大町市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
陳情第9号	通学路の安全確保を求める陳情	採 択
陳情第11号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書提出について	採 択
議案第4号	大町市議会基本条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第5号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書	原案可決
議案第6号	通学路として利用される地下道の安全確保に関する意見書	原案可決

12月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのか、なぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。



議案第84号

大町市景観条例制定について

原案に反対

景観の悪化への配慮は必須事項のはず
景観計画で盛り土構造の松糸道路を容認するが
市民は認めない。本条例で再検証を行え。
（大和 幸久）

議案第93号

大町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

原案に反対

形式的処分では信頼回復につながらない
減額処分の繰り返しでは信頼は回復せず、原因
検証と再発防止が不十分であるため反対。
（栗林 陽一）

議案第79号

大町市営駐車場条例の一部を改正する条例制定について

原案に反対

公共施設利用料金一斉値上げ・まず説明を
大町市は値上げが市民活動の制限や利用率の低下を
予想する。決める前に利用者の声を聞け。
（大和 幸久）

議案第86号

令和7年度大町市一般会計補正予算（第6号）

原案に賛成

市民生活の支えとなるように
物価高騰対策など多岐にわたる重要議案。今後
政府から示される物価高騰対策への要望も求め
て賛成。（西澤 和保）

陳情第10号

大町市公共施設利用料の見直しについて緊急の説明会開催などを求める陳情

原案に反対

タダでの施設使用はあり得ない
公共施設を維持管理する為にも一定の使用料は
必要。施設利用をしない方との不公平感は是正
すべきである。（西澤 和保）
受益者負担は必要だ
市は公共施設の老朽化に伴う維持管理を適切に行うため、受益者負担を求めるにあたり、丁寧な説明をすべき。（山本 みゆき）

陳情第11号

診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書提出について

原案に賛成

国の支援で地域医療を守れ
国の医療費削減政策で、7割の病院が赤字となり病院は瀕死の状態。医療を守る
のは国の責任だ。（宮田 一男）

陳情第12号

高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書提出について

原案に反対

制度存続のため慎重な議論継続を
負担軽減の思いは共有するが、制度存続の危機を前に、応能負担の議論等は継続すべき。（中村 直人）
患者負担増の見直しは中止を
高額療養費制度は、国民に必要な医療を保障するセーフティネット。自己負担上限額の据置を。（宮田 一男）



Vol.31

みんなのひろば

議員が市民のみなさんの声取材してつくるみんなのひろばです。
今回は岳陽高校生みなさんにインタビューしました。

岳陽高校生のみなさん

- ① 意見交換会をやってみた感想は
- ② 「議会」の印象は?
- ③ 今ハマっていること

- ① 議員さんに意見を伝えることで大町への思いが共有できたいい機会でした。
- ② 距離感がある印象でしたが、フレンドリーな意見交換ができ距離感が縮まった印象でした。
- ③ Kポップなど、興味があるものにはハマったりします。

にしざわ みきよ
西澤 美聡 さん

- ① 意見交換会では、普段は話さない内容まで率直に話すことができました。
- ② 堅い印象がありましたが、議員の方は親しみやすく話しやすかったです。
- ③ ガチャを楽しみながら、好きなアイテムを集めています。

みかみ そら
三上 紗萊さんあらい ゆうのすけ
荒井 悠ノ介 さん

- ① 皆の意見が聞けたことや、普段話さない地域の話も聞けていい機会になりました。
- ② まじめで堅苦しいイメージから、フレンドリーで明るいイメージに変わりました。
- ③ 子猫を飼い始めました。おもちゃで遊ぶ子猫を見ることにハマっています。

まるやま けんた
丸山 健太 さん

- ① 今までにない機会を頂き、とても新鮮で大町に対する考えも深まった良い機会でした。
- ② とてもフレンドリーで気さくに話しかけてもらい気軽に話し合えました。
- ③ 最近は動画編集などの製作活動にハマっています。

請願・陳情の提出期限変更のお知らせ

請願・陳情の提出期限は、定例会招集日の前10日（閉庁日にあたる場合は、前開庁日）までに変更となりました。

令和8年3月定例会における提出期限

提出期限は、2月13日（金）17時15分です。
期限後に受理した請願・陳情は次の定例会での審査となりますのでご了承ください。

次回3月定例会予定

- 開 会 2月24日(火)午前10時～
- 一般質問 3月 3日(火)・4日(水)・6日(金)
- 最 終 日 3月19日(木)午前10時～ 討論・採決

傍聴にお越しの際は

○傍聴をご希望の方は議会棟2階の議会事務局で申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

🔍 大町市議会 議会中継

本会議の
生中継

市議会議員と話そう！

市内3地区 議会報告会・意見交換会

- 実施日 令和8年2月2日（月）
対象地域 旧大町市域
会場 市役所 西会議室
- 実施日 令和8年2月4日（水）
対象地域 八坂地区
会場 八坂支所 集会室
- 実施日 令和8年2月6日（金）
対象地域 美麻地区
会場 美麻総合福祉センター
（全日 午後6時から午後8時まで）

市民の皆さんと地域の未来を一緒に考える時間です。お気軽にご参加ください。



あとがき

議員それぞれ立場や考え方は違うが、高校生を前にして、未来のために頑張らなくてはと、心が一つになるのを感じた。思い出すトムとジェリーの主題歌の一節「なかよく喧嘩しな」彼らは追いかかけ合い、私たちは議論を尽くし、子どもたちの笑顔をつくれればいい。

（中村直人）



議会だより編集委員【委員長】 小澤悟 【副委員長】 栗林陽一

【委 員】 一本木秀章 太田昭司 中村直人 大竹真千子 植松悠一郎 大和幸久

